



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月7日

上場会社名 株式会社JMS

上場取引所

東

コード番号 7702 URL <https://www.jms.cc/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 桂 龍司

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート本部長

(氏名) 落合 芳紀

TEL 082-243-5844

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	15,128	△2.7	△121	—	△114	—	△379	—
2026年3月期第1四半期	15,546	△3.9	△176	—	△283	—	△459	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 134百万円 (—%) 2026年3月期第1四半期 △731百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△15.48	—
2026年3月期第1四半期	△18.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	82,817	41,716	50.3
2026年3月期	83,067	41,791	50.2

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 41,658百万円 2026年3月期 41,730百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	8.50	—	8.50	17.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	8.50	—	8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	31,600	△1.9	350	—	300	—	200	—	8.16
通期	66,000	0.2	1,000	162.1	900	152.4	600	—	24.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 - ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	24,733,466 株	2026年3月期	24,733,466 株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	202,973 株	2026年3月期	202,966 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	24,530,497 株	2026年3月期1Q	24,503,443 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社グループは、「かけがえのない生命のために」の創業精神の下、「医療を必要とする人と支える人の架け橋となり、健康でより豊かな生活に貢献することですべての人々を笑顔にする」ことを目指して、経営の品質と企業価値の向上に努めております。

事業活動としましては、輸液・栄養領域、透析領域、外科治療領域、血液・細胞領域の4つの領域を中心に事業を展開し、製品の開発、生産、販売を進めております。

当第1四半期連結累計期間は、日本国内においては、注力事業として取り組みを進める薬剤調製・投与クローズドシステムや、中東情勢の影響による買い込み需要を背景とした手術用手袋の販売が伸長しました。海外においては、A V F 針（血液透析用針）の販売が堅調に推移した一方で、血液バッグおよび欧州向け透析用チェアの販売が減少しました。

以上の結果、売上高は、前年同四半期に比べ4億18百万円減少の151億28百万円（前年同四半期比2.7%減）となりました。

利益につきましては、製造経費等の削減効果は得られたものの、血液バッグなどの海外主力製品の減収影響に加え、人件費および研究開発費の増加により、営業損失は1億21百万円（前年同四半期は営業損失1億76百万円）となりました。また、持分法による投資利益や為替差損を計上した結果、経常損失は1億14百万円（前年同四半期は経常損失2億83百万円）となり、法人税等を加減した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は3億79百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失4億59百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（日本）

血液透析装置および取扱いを終了した自己血回収装置の販売が減少したものの、薬剤調製・投与クローズドシステムおよび手術用手袋の販売が伸長したため、売上高は105億74百万円（前年同四半期比0.3%増）となりました。また、セグメント利益については、研究開発費が増加したものの、販売費および一般管理費全体では微増にとどまったことに加え、子会社からの受取配当金の増加により、1億45百万円（前年同四半期比19.9%増）となりました。

（シンガポール）

北米向け成分献血用回路の販売が増加したものの、アジア及びアフリカ向け血液バッグの販売が減少したため、売上高は51億91百万円（前年同四半期比7.9%減）となりました。また、セグメント損益については、減収影響に加え、為替差損を計上した結果、1億24百万円の損失（前年同四半期は2億48百万円の損失）となりました。

（中国）

A V F 針および人工腎臓用血液回路の販売が好調に推移したことにより、売上高は11億81百万円（前年同四半期比28.0%増）となりました。また、セグメント利益については、為替が不利に作用したものの、増収効果により、1億11百万円（前年同四半期は1百万円の利益）となりました。

（フィリピン）

アジア向け血液バッグの販売が減少したものの、日本向け輸液セットおよび欧州向けA V F 針の販売が増加したため、売上高は9億1百万円（前年同四半期比7.4%増）となりました。また、セグメント損益については、血液バッグの販売減少に伴う稼働率の低下のほか、労務費等の増加により、1億60百万円の損失（前年同四半期は1億50百万円の損失）となりました。

（ドイツ）

欧州向けA V F 針の販売が堅調に推移したものの、透析用チェアや血液バッグの販売が減少したため、売上高は9億56百万円（前年同四半期比11.5%減）となりました。また、セグメント利益については、減収影響に加え、人件費の増加により1億4百万円（前年同四半期比19.1%減）となりました。

（その他）

北米向けA V F 針の販売が低調に推移したほか、韓国生産拠点の事業再編の影響などにより、売上高は11億21百万円（前年同四半期比24.4%減）となり、セグメント損益については、54百万円の損失（前年同四半期は43百万円の損失）となりました。

（2）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億50百万円減少の828億17百万円となりました。資産、負債及び純資産の内容は次のとおりであります。

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べ68百万円増加の474億53百万円となりました。この主な要因は、売上債権を回収したことにより現金及び預金が増加したためであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ3億18百万円減少の353億64百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産が減少したためであります。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1億59百万円減少の265億23百万円となりました。この主な要因は、短期借入金が減少したためであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ16百万円減少の145億77百万円となりました。この主な要因は、リース債務が減少したためであります。

（純資産）

純資産は、前連結会計年度末に比べ75百万円減少の417億16百万円となりました。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.1ポイント上昇の50.3%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

中東情勢をはじめとする事業環境の先行きは依然として不透明であり、各種リスクが当社グループの業績に与える影響を注視しております。現時点におきましては、第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想について、2026年5月12日公表時から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,721	8,776
受取手形及び売掛金	18,655	16,631
商品及び製品	9,838	10,123
仕掛品	3,818	4,139
原材料及び貯蔵品	6,547	6,824
その他	808	960
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	47,385	47,453
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,627	9,561
機械装置及び運搬具（純額）	8,972	8,924
その他（純額）	9,097	8,679
有形固定資産合計	27,698	27,166
無形固定資産		
のれん	264	260
その他	718	707
無形固定資産合計	982	968
投資その他の資産		
投資その他の資産	7,078	7,307
貸倒引当金	△77	△77
投資その他の資産合計	7,001	7,229
固定資産合計	35,682	35,364
資産合計	83,067	82,817

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,704	5,787
短期借入金	8,330	8,075
1年内返済予定の長期借入金	6,141	6,127
未払法人税等	205	96
賞与引当金	1,051	650
その他	5,249	5,785
流動負債合計	26,682	26,523
固定負債		
長期借入金	12,005	11,947
役員退職慰労引当金	187	170
退職給付に係る負債	197	205
資産除去債務	374	379
その他	1,829	1,874
固定負債合計	14,593	14,577
負債合計	41,276	41,101
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,411	7,411
資本剰余金	10,351	10,351
利益剰余金	15,513	14,924
自己株式	△156	△156
株主資本合計	33,119	32,531
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,464	1,682
為替換算調整勘定	7,146	7,444
その他の包括利益累計額合計	8,611	9,127
非支配株主持分	60	57
純資産合計	41,791	41,716
負債純資産合計	83,067	82,817

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	15,546	15,128
売上原価	11,995	11,440
売上総利益	3,551	3,687
販売費及び一般管理費	3,727	3,809
営業損失(△)	△176	△121
営業外収益		
受取利息	2	6
受取配当金	46	50
持分法による投資利益	55	68
その他	21	49
営業外収益合計	125	174
営業外費用		
支払利息	84	124
為替差損	144	40
その他	4	3
営業外費用合計	233	168
経常損失(△)	△283	△114
特別利益		
固定資産売却益	2	3
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	2	3
特別損失		
固定資産売却損	—	2
固定資産廃棄損	1	3
特別損失合計	1	5
税金等調整前四半期純損失(△)	△282	△117
法人税、住民税及び事業税	81	41
法人税等調整額	104	222
法人税等合計	185	264
四半期純損失(△)	△468	△381
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9	△1
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△459	△379

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純損失(△)	△468	△381
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14	217
為替換算調整勘定	△248	298
その他の包括利益合計	△262	516
四半期包括利益	△731	134
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△721	134
非支配株主に係る四半期包括利益	△10	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 2	合計
	日本	シンガ ポール (注) 1	中国	フィリ ピン	ドイツ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	9,725	2,810	437	8	1,079	14,062	1,483	15,546
セグメント間の内部 売上高又は振替高	819	2,828	485	830	0	4,964	—	4,964
計	10,545	5,639	922	839	1,080	19,027	1,483	20,511
セグメント利益又は損失(△)	121	△248	1	△150	129	△146	△43	△189

(注) 1 「シンガポール」の区分は、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでおります。

2 「その他」の区分は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイ、中国の一部の現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△146
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△43
セグメント間取引消去	△169
持分法投資利益又は損失(△)	57
その他の調整額	17
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△283

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 2	合計
	日本	シンガ ポール (注) 1	中国	フィリ ピン	ドイツ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	9,817	2,656	560	16	956	14,006	1,121	15,128
セグメント間の内部 売上高又は振替高	757	2,534	620	885	—	4,798	—	4,798
計	10,574	5,191	1,181	901	956	18,804	1,121	19,926
セグメント利益又は損失(△)	145	△124	111	△160	104	76	△54	22

(注) 1 「シンガポール」の区分は、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでおります。

2 「その他」の区分は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイ、中国の一部の現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	76
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△54
セグメント間取引消去	△200
持分法投資利益又は損失(△)	68
その他の調整額	△5
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△114

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	932百万円	981百万円
のれんの償却額	9	9